

PASSWORD MANAGER > インポート&エクスポート

暗号化されたエクスポート

ヘルプセンターで表示:

<https://bitwarden.com/help/encrypted-export/>

暗号化されたエクスポート

保管庫のデータは、暗号化された.jsonファイルでエクスポートすることができます。暗号化されたエクスポートファイルには、組織または個々の保管庫からの保管庫アイテムが含まれ、Sends、ゴミ箱、またはアイテムの添付ファイルは含まれません。パスワードで保護されたエクスポートは、Web Vault またはCLIを使用して作成できます。Bitwardenは、二つの暗号化されたエクスポートタイプを提供します：

- **アカウント制限**：暗号化されたファイルをエクスポートし、その暗号化エクスポートファイルを生成したBitwardenアカウントまたは組織にのみ再インポートできます。このプロセスは、制限されたエクスポートに特化した相対的な**アカウント**または組織の暗号化キーを利用します。
- **パスワードで保護された**：選択したパスワードで保護された暗号化ファイルをエクスポートします。このファイルはパスワードで復号化でき、任意のBitwardenアカウントにインポートすることができます。指定されたパスワードはソルト化され、PBKDF2を使用して100,000回の反復で暗号化キーを導き出し、最終的にHDKFで新たな暗号化キーに伸ばされます。これにより、あなたのデータとメッセージ認証コード（MAC）が暗号化されます。

⚠ Warning

アカウント制限エクスポートは別のアカウントにインポートできません。さらに、**アカウントの暗号化キーをロテートすると、アカウント制限のエクスポートは復号化できなくなります。あなたがアカウントの暗号化キーをロテートする場合、新しい暗号化キーを使用する新しいファイルで古いファイルをすべて置き換えてください。**

異なるBitwardenアカウントに暗号化された.jsonファイルをインポートしたい場合は、エクスポートを作成するときに**パスワード保護されたエクスポートタイプ**を選択してください。

暗号化されたエクスポートには、ログイン、カード、セキュアメモ、IDなどの保管庫のアイテムが含まれます。次のプレーンテキストのログインアイテムの暗号化されたエクスポート：

Bash

```
{
  ...
  "login": {
    "username": "mylogin",
    "password": "mypassword",
    "totp": "otpauth://totp/my-secret-key"
  },
  ...
}
```

次のように見えるでしょう：

Bash

```
{
  ...
  "login": {
    "username": "9.dZwQ+b9Zasp98dnfp[g|dHZZ1p19783bn1KzkEsA=l52bcWB/w9unvCt2zE/kCwdpiubA0f104os}",
    "password": "1o8y3oqsp8n8986HmW7qA=oiCZo872b3dbp0nzT/Pw=|A2lgso87bfDBCys049ano278ebdmTe4:",
    "totp": "2CIUxtpo870B)^*^GW2ta/xb0IYyep0(*&G(&BB84LZ5ByZxu0E9hTTs6PHg0=8q5DHEPU&bp9&*bns3EYgETXpiu9898sx078l"
  },
  ...
}
```

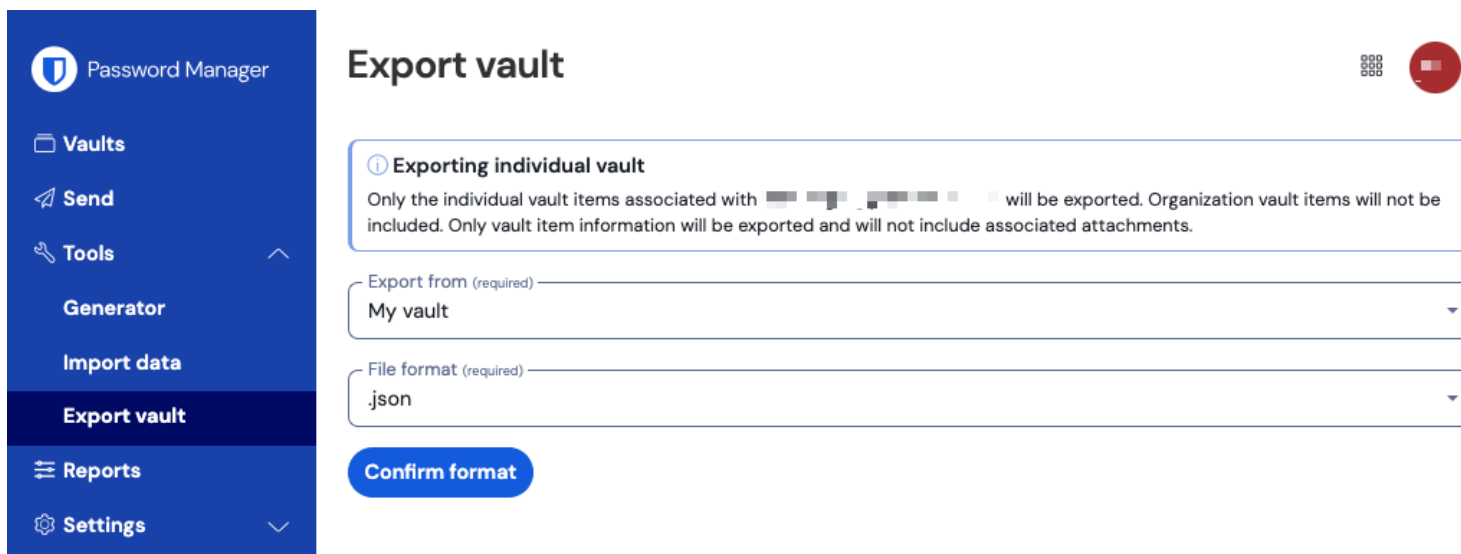
暗号化されたエクスポートを作成します

暗号化されたエクスポートの作成は、通常のエクスポート手順に従います。ファイル形式のプロンプトが表示されたら、**.json (暗号化)** を選択してください。

⇒ウェブアプリ

ウェブアプリから個々の保管庫データをエクスポートするには：

1. Bitwardenウェブアプリで、ナビゲーションから **ツール** → **保管庫をエクスポート** を選択します。



個々の保管庫をエクスポートします

2. エクスポート元の場所を選択し、**ファイル形式** (**.json**、**.csv**、または **.json (暗号化)**) を選択してください。
あなたがエクスポート元のドロップダウンから組織を選択した場合、**管理可能な権限を持つコレクションのみ**がエクスポートされます。
3. あなたが **.json (暗号化済み)** を選択した場合、暗号化されたエクスポートのために希望する**エクスポートタイプ**を選択してください。

- **アカウント制限** : このファイルは、暗号化されたエクスポートファイルを生成した現在のBitwardenアカウントにのみインポートできます。
- **パスワードで保護されている**: このファイルは、暗号化されたエクスポート プロセス中に設定されたパスワードを利用して、任意のBitwarden アカウントにインポートできます。

4. **形式を確認する**を選択し、マスターパスワードを入力し、**保管庫をエクスポート**ボタンを選択して終了します。

⇒ブラウザ拡張機能

ブラウザ拡張機能から個々の保管庫データをエクスポートするには :

1. **設定** タブを開きます。
2. ツールセクションまでスクロールダウンし、**保管庫をエクスポート**オプションを選択してください。
3. エクスポート保管庫表示で、**ファイル形式**を選択してください (**.json**、**.csv**、または **.json (暗号化)**)。

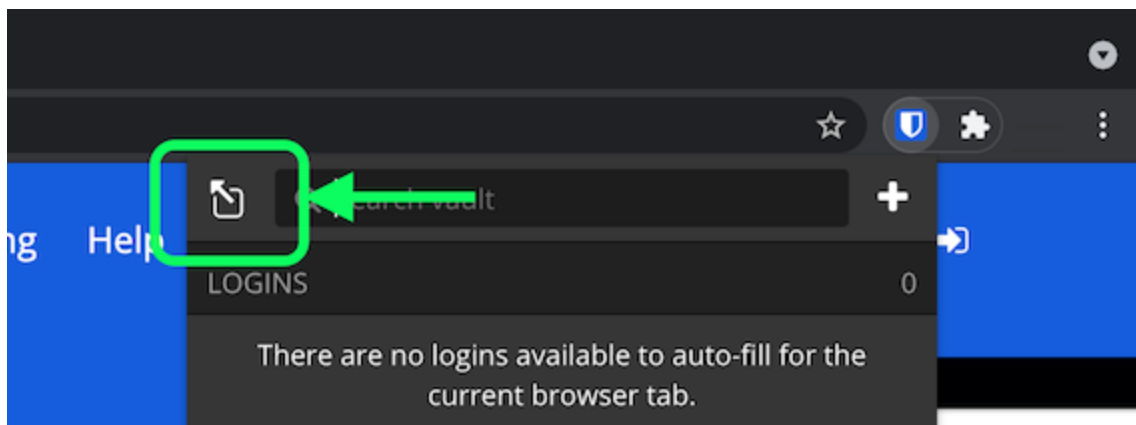
💡 Tip

このデータを新しいBitwardenアカウントにインポートする必要がある場合、ウェブ保管庫を使用して**パスワード保護されたエクスポート**を作成することをお勧めします。

4. マスターパスワードを入力し、**送信**を選択してください。

📌 Note

Vivaldiからエクスポートする場合、エクスポートが正しく機能するためには、ブラウザの拡張機能をポップアウトする必要があるかもしれません。



ブラウザ拡張機能をポップアウトする

⇒デスクトップ

デスクトップアプリから個々の保管庫データをエクスポートするには :

1. メニューバーから、**ファイル** → **保管庫をエクスポート**に移動します。
2. エクスポート保管庫のウィンドウで、**ファイル形式**を選択してください (**.json**、**.csv**、または **.json (暗号化済み)**)。

Tip

このデータを新しいBitwardenアカウントにインポートする必要がある場合、ウェブ保管庫を使用して**パスワード保護されたエクスポート**を作成することをお勧めします。

3. マスターパスワードを入力し、**ダウンロード** ボタンを選択してください。

⇒モバイル

モバイルアプリから個々の保管庫データをエクスポートするには：

1. **設定** タブをタップしてください。
2. **保管庫**をタップし、**保管庫をエクスポート**のオプションをタップします。
3. エクスポート保管庫の表示で、**ファイル形式**を選択してください(**.json**、**.csv**、または**.json (暗号化)**)。

Tip

このデータを新しいBitwardenアカウントにインポートする必要がある場合、ウェブ保管庫を使用して**パスワード保護されたエクスポート**を作成することをお勧めします。

4. マスターパスワードを入力し、**保管庫をエクスポート**ボタンを選択してください。

⇒CLI

CLIから個々の保管庫データをエクスポートするには、**エクスポート**コマンドを使用します。デフォルトでは、**エクスポート**はあなたの保管庫を**.csv**としてエクスポートし、ファイルを作業ディレクトリに保存しますが、この動作はオプションを使用して変更することができます。

Bash

```
bw export --output /users/me/documents/ --format json --password mYP@ssw0rd
```

--パスワードオプションは、**アカウントの暗号化キー**の代わりに、**encrypted_json**のエクスポートを暗号化するためのパスワードを指定するために使用できます。

詳細については、Bitwarden **CLIドキュメンテーション**をご覧ください。

暗号化されたエクスポートをインポートします

暗号化されたエクスポートのインポートは、**通常のインポート手順**に従います。**ファイル形式**を求められたときは、**.json**を選択してください。

Tip

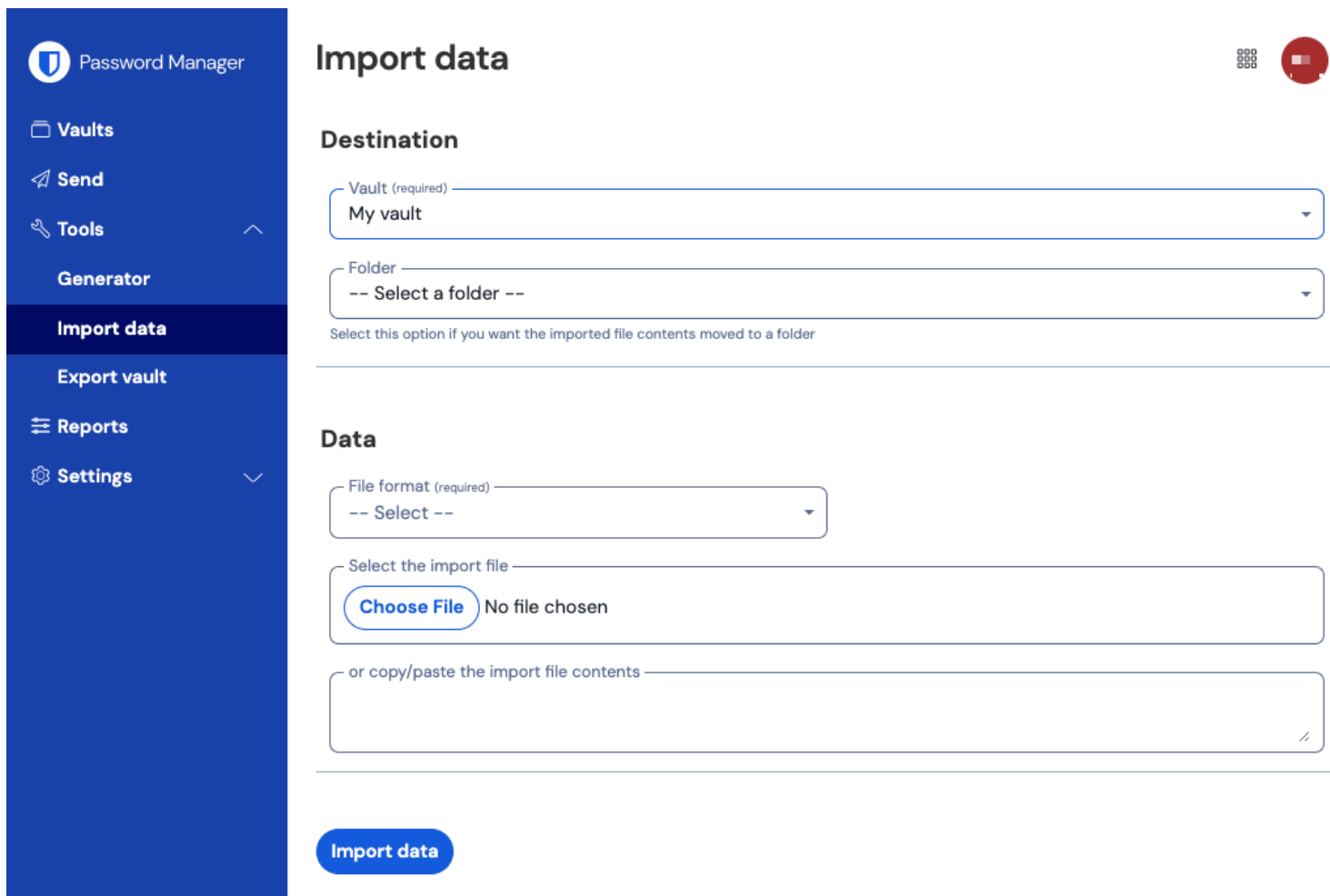
暗号化されたエクスポート専用のインポートオプションはありません。ハンドラーは、**.json**ファイルが暗号化されていることを判断し、あなたの**アカウントの暗号化キー**または暗号化されたエクスポートパスワードを使用してファイルの復号化を試みます。

⇒ウェブアプリ

あなたの保管庫にデータをインポートするには：

1. <https://vault.bitwarden.com>、<https://vault.bitwarden.eu>、または自己ホスト型の場合は<https://your.bitwarden.domain.com>にあるウェブ保管庫にログインしてください。

2. ナビゲーションからツール→データをインポートを選択します。



データのインポート

3. 申し訳ありませんが、あなたの指示が不明確です。具体的なフィールドやドロップダウンメニューの選択肢を提供していただけませんか？

- **インポート先:** アクセス可能な個人の保管庫や組織の保管庫など、インポート先を選択してください。
- **フォルダーまたはコレクション:** インポートされたコンテンツを特定のフォルダーまたはアクセス可能な組織のコレクションに移動させたい場合は、選択してください。
- **ファイル形式:** インポートファイル形式を選択します。

4. **ファイル**を選択し、インポートするファイルを追加するか、またはファイルの内容を入力ボックスにコピー/ペーストしてください。

⚠ Warning

インポートすると、インポートするファイル内のアイテムがすでにあなたの保管庫に存在するかどうかは確認されません。複数のファイルをインポートするか、またはすでに保管庫にアイテムがあるファイルをインポートすると、これにより重複が作成されます。

5. **データをインポート**を選択して、インポートをトリガーします。パスワードで保護された **.json** ファイルをインポートする場合は、表示される **保管庫のインポートを確認** ウィンドウにパスワードを入力してください。
6. インポートが成功した後、コンピュータからインポート元のファイルを削除してください。これは、あなたのコンピュータが侵害された場合に保護します。

追加のアイテム、例えば添付ファイル、Send、そしてゴミ箱は、あなたの保管庫に手動でアップロードする必要があります。

⇒ブラウザ拡張機能

あなたの保管庫にデータをインポートするには：

1. **設定** タブを選択し、**アイテムをインポートオプション**を選択してください。
2. 申し訳ありませんが、あなたの要求を理解するのが難しいです。
具体的なフィールドやドロップダウンメニューの項目を提供していただけませんか？
 1. **インポート先**：アクセス可能な個人の保管庫や組織の保管庫など、インポート先を選択してください。
 2. **フォルダーまたはコレクション**：
インポートされたコンテンツを特定のフォルダーまたはアクセス可能な組織のコレクションに移動させたい場合は、選択してください。
 3. **ファイル形式**：インポートファイル形式を選択します。
3. **ファイル**を選択し、インポートするファイルを追加するか、またはファイルの内容を入力ボックスにコピー/ペーストしてください。

⚠ Warning

インポートすると、インポートするファイル内のアイテムがすでにあなたの保管庫に存在するかどうかは確認されません。複数のファイルをインポートするか、またはすでに保管庫にアイテムがあるファイルをインポートすると、これにより重複が作成されます。

4. **データをインポート**を選択して、インポートをトリガーします。パスワードで保護された **.json** ファイルをインポートする場合は、表示される **保管庫インポートの確認** ウィンドウにパスワードを入力してください。
5. 成功したインポートの後、コンピュータからインポート元のファイルを削除してください。これは、コンピュータが侵害された場合にあなたを保護します。

⇒デスクトップアプリ

あなたの保管庫にデータをインポートするには：

1. **ファイル**を選択 > **データをインポート**。
2. 申し訳ありませんが、あなたの要求を理解するのが難しいです。
具体的なフィールドやドロップダウンメニューの項目を提供していただけませんか？

1. **インポート先:** アクセス可能な個人の保管庫や組織の保管庫など、インポート先を選択してください。
2. **フォルダーまたはコレクション:** インポートされたコンテンツを特定のフォルダーまたはアクセス可能な組織のコレクションに移動させたい場合は、選択してください。
3. **ファイル形式:** インポートファイル形式を選択します。

3. **ファイルを選択し**、インポートするファイルを追加するか、またはファイルの内容を入力ボックスにコピー/貼り付けしてください。

⚠ Warning

インポートすると、インポートするファイル内のアイテムがすでにあなたの保管庫に存在するかどうかは確認されません。複数のファイルをインポートするか、またはすでに保管庫にアイテムがあるファイルをインポートすると、これにより重複が作成されます。

4. **データをインポート**を選択して、インポートをトリガーします。パスワードで保護された `.json` ファイルをインポートする場合は、表示される **保管庫インポートの確認** ウィンドウにパスワードを入力してください。
5. 成功したインポートの後、コンピュータからインポート元のファイルを削除してください。これは、あなたのコンピュータが侵害された場合に保護します。

⇒CLI

CLIからあなたの保管庫にデータをインポートするには、次のコマンドを使用します:

Bash

```
bw import <format> <path>
```

`bw` インポートはフォーマット (`bw` インポート `--formats` を使用してフォーマットのリストを取得) とパスが必要です。例えば:

Bash

```
bw import <format> /Users/myaccount/Documents/mydata.csv
```

成功したインポートの後、コンピュータからインポート元のファイルを削除してください。これはあなたのコンピュータが侵害された場合に保護します。